

八女

茶のくに



八女市は福岡県の南部、福岡市から南へ約50kmに位置し、北は久留米市、広川町、西は筑後市、南は熊本県、東は大分県に接しています。

豊かな大地に育まれた八女は、古代から栄え、八女丘陵には岩戸山古墳をはじめ多くの古墳があります。また、手すき和紙・仏壇・提灯などの伝統工芸品や八女茶・電照菊・椎茸などの農産物も自慢です。

八女の文化や歴史に触れ、ゆっくりと過ごしてみませんか。

寄稿：八女市企画財政課



NYで「八女伝統本玉露」をPR



八女伝統本玉露を世界へ

3月9日。アメリカで昨年12月にオープンし、早くもミシュラン三つ星を獲得すると言われている注目のレストラン「シングルスレッド」と提携し、現地の有名レストランシエフやマスコミ関係者、輸入業者ら20人を限定招待し、「八女伝統本玉露」のプロモーションを行いました。

これは、「八女伝統本玉露」を世界のスーパーブランドにする果てしない夢への第一歩でした。

八女では、平成31年までの3年間で、国内外高級レストランでのメニュー採用10店舗を目指すとともに、世界のクリエイティブへの販路を構築します。当面は世界の食文化、情報が集まるニューヨークと東京を中心に進めていきます。

八女伝統本玉露とは

玉露は緑茶の一種ですが、煎茶と異なり、茶葉の収穫前に日光を遮る被覆を施すことで、まろやかな旨味とコクを高めた高級茶葉です。その中でも、伝統的な技法にこだわり作られている最高品質の玉露が、「八女伝統本玉露」です。年間の生産量はわずかに12トン（平成27年度）しか生産されないため希少性の高いものとなっております。



影響力のあるトップシェフ、マスコミ関係者などが「しずく茶」を試飲。感謝の声が上がる



八女伝統本玉露のアイコン的な飲み方「しずく茶」

多くの玉露生産地では、化学繊維による被覆や機械積みによって効率化しているところもありますが、八女は品質へのこだわりと110年以上守り継承している伝統的な技法を頑なに守り続けました。福岡県茶業振興推進協議会では、「八女伝統本玉露」の基準を設けブランドの信頼性を高めています。

(特性)

茶葉収穫前に稲わら等の天然資材で被覆することにより「覆い香」といわれる香氣成分の含有量が高い茶葉が生産されます。味は、濃厚で非常に旨味が強く、「まろやか」で「コク」があります。

八女は職人のまち 受け継がれる伝統工芸

1. 八女福島仏壇【国指定伝統工芸品】八女福島仏壇は木地・彫刻・金箔・漆・蒔絵などの多くの職人が関わり分業で製造されるので、仏壇は総合芸術だと言われています。2. 八女提灯【国指定伝統工芸品】仏壇と同じように分業制で製造されます。土台作りから絵付けまで伝統の技が光ります。3. 八女手すき和紙【県指定特定民芸品】繊維の長い地元産の楮こうぞを主原料としているので、引きが良くコシのある、強靱で優美な和紙ができることが特徴です。

八女の歴史は伝統工芸品とともに歩んできた歴史でもあります。仏壇や提灯は江戸時代から、手すき和紙は400年以上前から、石灯籠の八女石工の歴史は古墳時代の「石人・石馬」までさかのぼることもできます。

昔ながらの街並みの中で、磨き上げられた職人の技が今も息づいています。

職人の工房を訪ねながら、街並みを散策したり、美味しい八女茶を飲んで休憩したり、ゆつくりと八女を味わってみませんか。



1



2



3





5



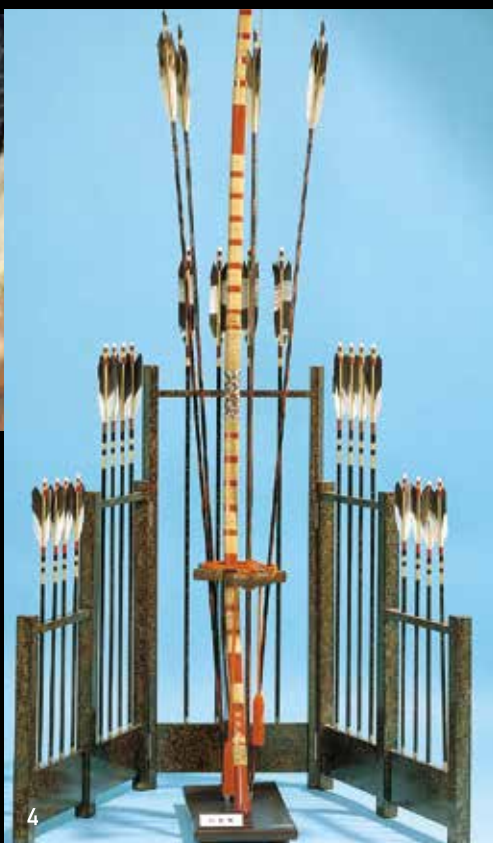
5



6



6



4

4. 八女矢【県指定特産民芸品】弓道の矢として全国の弓道家に愛用されています。矢飛びの良さと美しさは全国的にも有名です。 5. 八女竹細工【県指定特産民芸品】八女は良質の竹の産地で、それを使って丈夫で長持ちする竹細工を作ること知られています。お茶摘みで使うテボ(カゴ)も作られ、生活のなかで息づいています。 6. 八女石灯籠【県指定特産民芸品】市内で切り出される加工に適した阿蘇凝灰岩で、春日灯籠、雪見灯籠などが作られています。 7. 八女和ごま【県指定特産民芸品】昔から子どものおもちゃとして親しまれてきたごま。「福が回る」「金回りがよくなる」ともいい、縁起物としても人気があります。



7



7

伝統工芸をもっと知る



詳しくはこちらで！



八女伝統工芸館

ものづくりのまち八女の伝統工芸品が展示・紹介されており、伝統技術の素晴らしさを感じていただけます。



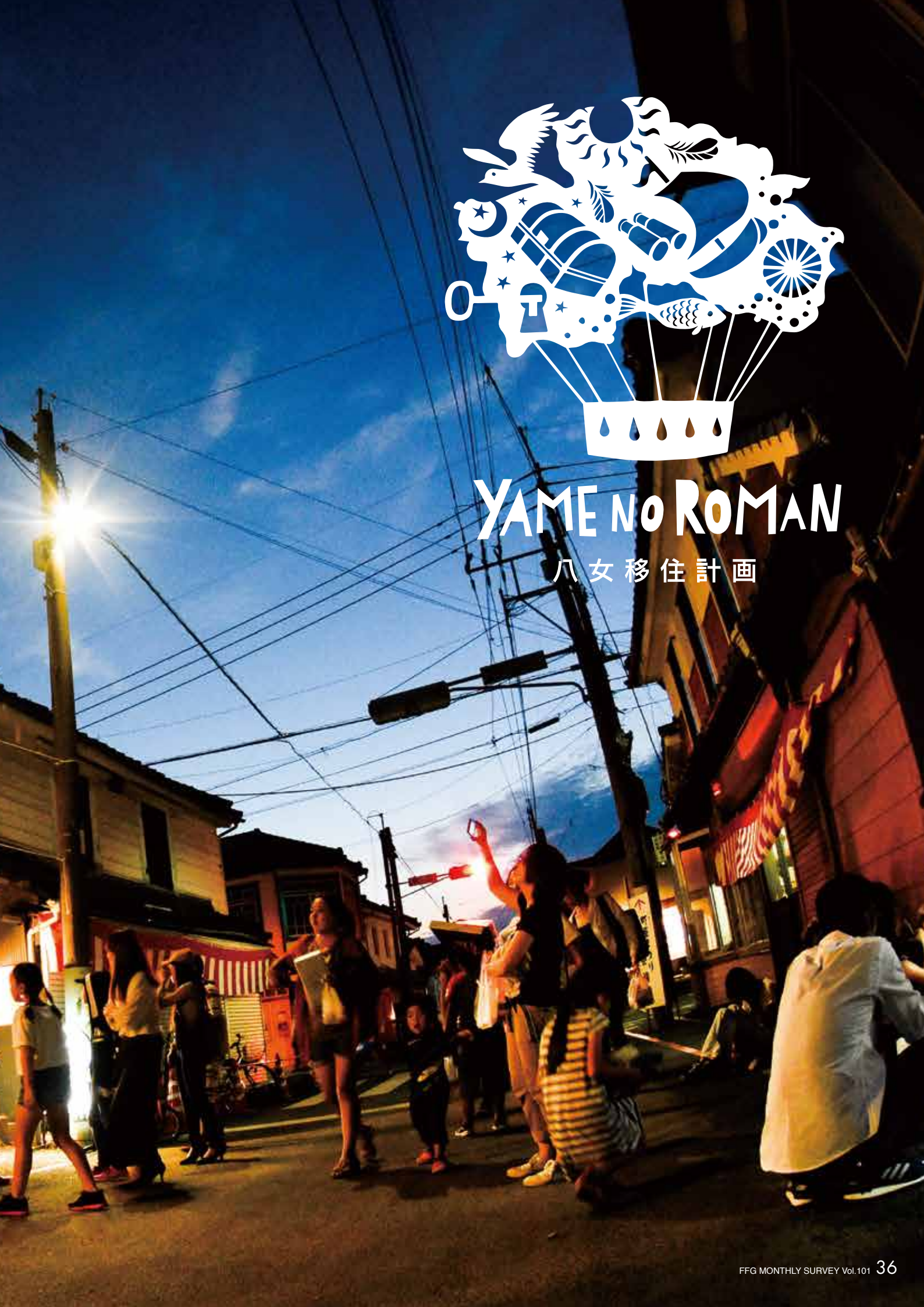
八女手すき和紙資料館

職人による実演見学や手すき和紙体験ができます。ハガキ・名刺などを作りながら楽しく和紙作りの工程を学べます。



YAME NO ROMAN

八女移住計画



誰の胸にも

「このまちに暮らす

確かな理由」がある

当たり前のことですが、移住・定住の仕事とは、人口を増やすことです。もちろん、医療や教育など社会の大切な仕組みを続けるには、それを支える人の数が必要で、重要なテーマです。最近の人口のデータはどれも、市内どころか国の人口が減っていることを示しています。この状態が続けば、私たちのまちを含む全国の多くのまちが消滅するといふ本もたくさん売れました。

しかし、人口の問題は「数だけでは解決しない」と感じています。消え失せることなくいつまでも続くまちには、データにこそ表れませんが、そこに暮らす人の熱いハートが必要です。それは、誰の胸にも「このまちに暮らす確かな理由」があると思うからです。もし、「量」だけが人を幸せにするものならば、東京はますます大きくなっていくことでしょう。

私たちの暮らす八女は、大自然が残り肥沃な大地や歴史、伝統の技が静かに息づく豊かなまちです。そしてこの地を舞台に「夢」に向かう熱い人たちがいます。「八女のロマン」と名付けられたこのプロジェクトは、八女にある可能性の大きさを伝え、それにチャレンジする人たちを応援する取り組みです。



ブランコのある市役所

移住・定住相談コーナーを開設



八女産の木材をふんだんに使用した温かみのある空間

八女市役所内に移住・定住の総合的な相談窓口となる「八女市移住・定住支援センター」がオープンしました。当センターの主な取り組みを紹介します。

移住・定住相談

移住・定住に関する相談や問い合わせに応じます。住まい・結婚・子育て・教育等に関する支援制度の紹介を行い、移住・定住地としての魅力をPRしています。また、転入者のみならず、市民の方への新築マイホームや中古住宅の取得に係る補助金、さらには今年度からの新規事業である賃貸住宅の家賃補助金等の受付も行っています。都市圏で開催される移住フェア等にも積極的に参加し、八女での暮らし方や地域情報を発信しています。

空き家バンク事業

空き家の有効利用を通し、移住・定住の促進を目的とした空き家バンク制度を実施しています。定住はもちろんのこと、地域居住などで空き家の利用を希望する人に住宅の情報提供を行います。また、市内に空き家をお持ちの方で売りたい、または貸したいという希望をお持ちの方の相談も受け付けています。



子どもたちが遊べるようにブランコを設置

移住・定住情報の発信

八女の魅力をいろいろな角度から紹介するために、実際に移住した人の暮らし方を紹介したパンフレットの発行や動画の制作を行っています。また、移住・定住専用サイト「八女のロマン」を運営し、フェイスブックやインスタグラムなどのSNS等を活用して情報を発信しています。

移住体験事業

移住希望者に、まずは短期的に仕事や地域の魅力を体感していただくために「就業型お試し体験事業」を実施しています。移住希望者の希望にあった事業者とのマッチングを行い、3日〜2週間程度体験していただきます。滞在中の宿泊費や移動費（レンタカー）の補助を実施しています。

【問合せ】

八女市移住・定住支援センター
(八女市地域振興課内)

TEL / 0943-12418162

移住定住専用サイト

www.romanticame.com/





九州本島内一の天体望遠鏡

星の文化館

九州最大の天体望遠鏡

先代の65cm天体望遠鏡は、平成3年のオープン以来、26年間、休むことなく九州の天文ファンを魅了してきました。当時は、九州最大の望遠鏡であり、宿泊しながら天体観測を楽しむことができる珍しい施設という触れ込みで、全国の注目を集めました。すぐにその地位は他者の追従を許すことになりました。

今回、新しく設置した大型望遠鏡は、有効口径が100cmとなり、九州本島内の公開天文台では最大の大きさとなりました。この望遠鏡はリッチクレチアン式の反射望遠鏡を採用。さらに、車椅子をご利用されているお客様にも、天体観測を楽しんでいただけるようバリアフリーに配慮した施設となっています。

ファミリー、恋人、宙ガールなど老若男女問わず、滞在していただき、時間の許す限りゆつくり観測をお楽しみいただけます。



星の文化館 (2017年4月リニューアル)

〒834-0201 八女市星野村10828-1

T E L / 0943-52-3000

F A X / 0943-52-3001

営業時間 / 月・土・日・祝 10:30~22:00

水・木・金 13:00~22:00

休館日 / 毎週火曜日

(年末年始、祝日、春・夏休み期間は営業)

入館料 / 大人400円、小学生300円、
幼児100円

プラネタリ / 大人200円、小学生100円
ウム視聴料



星に関する情報展示コーナーを新設



新しく設置した大型望遠鏡



星野の眺望が楽しめるカウンター席

茶の文化館

目指すは、お茶の聖地

八女茶の中でも星野地区は品質の高いお茶が古くから生産されてきました。お茶の魅力や生産者と茶商の誇りを伝え続けてきた場所。それが、茶の文化館の役割でした。

時は流れ、現在、八女茶を取り巻く状況は大きく変わろうとしています。平成27年12月に「八女伝統本玉露」が、お茶の産地として全国で初めて地理的表示(GI)登録認証されたことは、記憶に新しいところです。

今回のリニューアルは、星野地区だけに留まらず、八女全体で生産される八女茶の魅力を発信し、お客様に八女茶のファンになっていただくことです。まだまだ、道半ばですが、将来的には、「お茶の聖地」になることを目指しています。

茶の文化館にお越しいただければ、のどかな風景を眺めながら、ゆつくりと喫茶の時間をお楽しみいただけます。

茶の文化館 (2017年4月リニューアル)

〒834-0201 八女市星野村10816-5

T E L / 0943-52-3003

F A X / 0943-52-3002

開館時間 / 10:00~17:00

(お食事処八女茶寮 11:00~14:30)

休館日 / 毎週火曜日

入館料 / 無料



八女茶を堪能



人気の石臼抹茶挽き体験

八女市の農産品

豊かな自然に恵まれた八女市は優良な農産物の宝庫です。



果物

博多甘熟娘キウイ

太陽の恵みをたっぷり浴びて育ったキウイフルーツ。福岡の人気ブランド。



果物

巨峰

濃厚な甘みが特徴の巨峰。八女の自然の恵みが生んだ自信作。



果物

博多あまおう

博多あまおうは、「あかい、まるい、おおい、うまい」の頭文字から命名された福岡県産ブランド。



花

電照菊

八女電照菊は、全国2位の生産量を誇り全国にむけて出荷しています。



果物

華たちばなみかん

八女産ブランドみかん。ジューシーな甘酸っぱさが詰まったみかんは栄養の宝庫。



果物

福岡のスモモ貴陽

皮は紅色、果肉は淡黄色。糖度が高くみずみずしいスモモ。



野菜

たけのこ

八女地方は全国でも有数の産地です。八女産たけのこはみずみずしい、旬の味わいです。



野菜

博多なす

博多なすの特徴はアクが少なく、まろやかな口当たりで和洋中を問わずどんな料理にも合います。



野菜

とまと

実がずっしりと詰まり、真っ赤に熟したとまとは、ハチによる自然交配で生まれる自信作です。

八女市ふるさと支援寄附

八女市企画財政課 TEL 0943-24-9009

ふるさとチョイス 八女市

検索

八女市へたくさんの方々からいただいたご寄附は、ふるさとを守り、地域づくりや人づくりに活用しています。感謝を伝えるお礼の品として、たくさんの特産品をご準備しております。



くだもの酢セット(選べる3本)

果物を使って醸造された「くだもの酢」。お好みの3本をセットで



GI八女伝統本玉露

八女市の豊かな自然の中で生産された生葉を原料とした玉露



八女の地酒

左から、高橋商店「繁樹大吟醸しずく搾り」、喜多屋「大吟醸特醸喜多屋」、旭松酒造「大吟醸」



玉露とすすり茶わんセット

高級玉露の旨みを楽しむ「すすり茶」。専用の器付き

蜂蜜ギフト さくら

自然の花々から採れる国産はちみつ。「早春みつ」「野山みつ」がセット



あまおう苺アイスマイルク

福岡県産の博多あまおうを贅沢に使用したアイスマイルク



八女組子照明

八女特産の手すき和紙を張り、明かりを灯すと組子が浮き上がる



アクセサリータッセル

八女の伝統工芸の技術を活かしたアクセサリー



出世虎・張り子の虎

八女の手すき和紙や柿渋を使用した職人の手による張り子

※紹介している商品は品切れや変更の場合もございます。また、上記以外の商品も多数ございます。最新情報はインターネットでご確認ください。